

# 手軽に登れる日本百名山(花の百名山)と戦国歴史散歩 伊吹山と賤ヶ岳・関ヶ原ウォーク

滋賀  
4日間

日程 7月8日(水)～11日(土)

★登山 + ウォーキング

花の  
山旅

歴史  
トレイル

旅行代金 173,000円

TC 同行 催 4名 朝 3 昼 0 夕 3

①新千歳または各地→関西＝木之本++ 賤ヶ岳(421m / 秀吉 vs 柴田勝家戦いの地)  
… 余呉湖(約 3h)＝長浜 ②＝伊吹山ドライブウェイ＝山頂駐車場(1,260m) …  
日本百名山伊吹山(1,377m / 約 20分) … 三宮神社(230m / 約 3h)＝関ヶ原(古戦  
場の史跡めぐり / 約 2h) ③＝小谷山(浅井長政の居城跡 / 約 3h)＝醒ヶ井宿のバイ  
カモ ④長浜＝関西→新千歳または各地



▶天下分け目  
の戦い「関ヶ  
原古戦場」跡  
を散策



◀伊吹山からは琵琶湖を一望

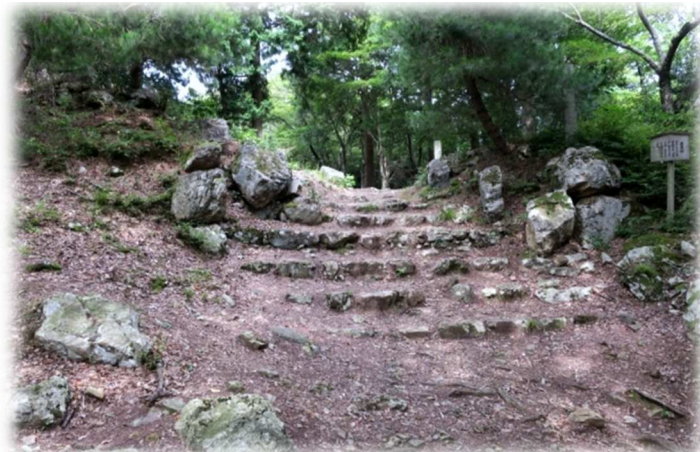
**POINT** 1300 種もの山野草が見られるドライブウェイで山頂間近まで登り、下りをハイキング。温泉宿に3連泊して、関ヶ原、賤ヶ岳、小谷山など戦国時代の史跡もめぐります。 ●現地集合・解散 / 133,000円



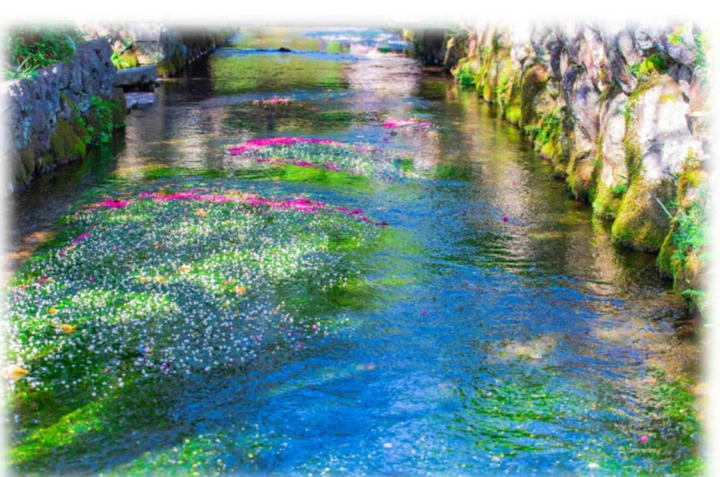
伊吹山麓には「天下分け目の戦い」の地・関ヶ原が広がります。古代には「壬申の乱」の舞台にもなり、日本随一の要所だったことがわかります。のんびりと古代～戦国の歴史散歩を楽しみましょう



羽柴秀吉と柴田勝家の決戦が行われた賤ヶ岳(しずがたけ)ヘリフトを使って登り、余呉湖畔まで縦走。写真は山頂から見渡す余呉湖



織田信長に滅ぼされた浅井長政の居城があった小谷山。標高495m の山には城址を巡る散策道が整備され、歴史に思いをはせながら軽ハイキングが楽しめます



醒ヶ井の地蔵川は湧水の清流で、この時季可憐なバイカモ(梅花藻)が水面に花を揺らします(イメージ)



イブキトラノオ、イブキジャコウソウ…その名を冠した高山植物が多いことでもわかるように、古くから山野草の宝庫として知られる伊吹山。山頂までドライブウェイが通り、手軽に登れる日本百名山、花の百名山として人気があります。初夏のこの時期はシモツケソウのピンク、メタカラコウの黄色の群落が見え、稜線を華やかに彩ります



## 伊吹山について

伊吹山地は滋賀県と岐阜県の県境に南北に連なっている山なみで、北から三国ヶ岳、土倉岳、金糞岳、新穂山、胡桃山と連なり、そしてその南端に滋賀県の最高峰である伊吹山(1,377.4m)がある。伊吹山の地層は、日本のほぼ全体が海底であった古生代(約2.5億年前)に形成された。伊吹山は大部分が石灰岩層からなり、この中に海産動物のウミユリやフズリナの化石が発見され、この地層が海底で生じたことを物語っている。本山地の西斜面に発した美しい溪流は合して姉川、高時川となって琵琶湖に注いでいる。伊吹山頂での快晴の日の眺望はすばらしく、東北には中部山岳地帯、南東には濃尾平野や伊勢湾、西には日本一の大きさをもつ琵琶湖が眼下に見られる。

奥伊吹と呼ばれる地域は金糞岳の鳥越峠から東側で新穂山、瀬戸山、品又峠などで囲まれている。向山谷には琴場女滝・男滝のハイキングコースがあり、瀬戸山谷から品又峠にかけてはよいスキー場となっている。地質については奥伊吹から伊吹山の北尾根の国見峠までが花崗岩類から出来ている。



シモツケソウなど初夏の花々が一面に山肌を覆う伊吹山